

弓道ながの

第74号

発行：長野県弓道連盟
会長 外蘭公毅
〒399-4117
駒ヶ根市赤穂10214-4
TEL0265(83)5206
編集：県連広報部
印刷：(株)成進社印

巻頭言

忍耐と感謝

長野県弓道連盟副会長 奥山 誠治



現在新型コロナ
ナウイルス感染
の影響が全国的
に広がっていま
す。その為当長
野県弓道連盟
の令和二年度の
行事は開催されず全く進んでおりませ
ん。

五月二十一日現在全国の感染者数
1万7195人、死亡者数812人、
幸いに長野県内に死亡者が出ていない
事にホッとしています。この先どの
ように終息するのか早く元通りの生活
に戻る事を願うばかりです。

三月頃より審査前講習会や審査会
も中止となり、更に日弓連からは九
月までの行事中止のメールが届き全

く先が読めません。県内各地の弓道
場の閉鎖も伝えられています。そん
な事で過去の「弓道ながの」を読み返
す機会があり、平成十六年第十号で
副会長をされていた栗林實先生の「忍
耐」が目に留まり、その一説には、故
武田豊先生(当時新日鐵社長)に軽井
沢の依田礼之助先生の別荘に御指導
にお伺いした時の話です。はじめに
武田豊先生は栗林實先生に「一手引く
から見てください」と言われ拜見させ
ていただき、その射は二十秒以上保つ
て延び合っって見事東中されたとの事
です。その会の深さ、澄ましの深さ
に感動し、暫くは身動きもできなかつ
たと言っていました。弓道を学ぶも
のは保ちを長くして忍耐力を養う事
が最も大切な事であり、人生の要に

成る事であると解いて下さいました。

教本の一九ページに、『会は心理
的には不動心の連続であり、的に対す
る執着心や欲望、雑念、を去り、正し
い信念にもとづき克己、冷静、忍耐、
決断力等の心気の充実に努めるとも
に、疑い、不安、弱気、恐怖、卑下感
等の陰性を払拭しなければならぬ。
この修練は射即人生につながる大切
な道である』と記されています。

これらを修得するのは至難のことで
はあるが、武田豊先生の教えの通り忍
耐が基本であると思う。十秒以上保て
ば誰でも無欲無心の射に到達できる可
能性は大大である。射即人生の基礎は忍
耐であり、家内安全夫婦円満の秘訣で
あると思う。

「弓道ながの」第十号長野県弓道連盟
副会長 栗林實先生 文より

感謝の心(気持)

各々弓道人として目標に向かい精進
している事と思います。先日NHKT
V『あの人に会いたい』の中で元横綱琴
櫻が「弟子に対して現代の子は昔のよ
うな稽古、言葉使いでは皆やめてしま
う。勝負の世界(相撲)では全部が強く



藁目 一善光寺弓道場にてー

なるわけではない。出世できなくても
世の中に通用する人間を育てたい。
まさしく弓道修行と相通ずるところが
あると思い共感するところです。

段位も進めば更に苦労や悩み、迷い
もありその壁を乗り越える事は並大抵
な事ではありません。指導いただく先
生方、弓友の仲間達、何より家族の支
え、理解が大きな力である事は確かだ
あると思います。

弓を引ける幸せを感じ、新型コロナ
ウイルス感染の早期終息を願っていま
す。

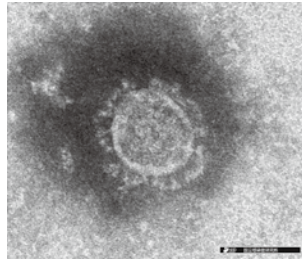
令和二年五月二十四日

COVID-19と呼ばれた頃

長野県弓道連盟会長 外蘭 公毅

四月二十一日に荒川広報部長より新型コロナウイルスに関する県弓連の対応などについての原稿を依頼された。その頃は感染者数もピークの頃であり、四月初めに三千人だったのが一万人を超えていた。全弓連の行事も次から次へと中止や延期の措置指令が出され、対応に翻弄されて原稿どころではない時期であった。荒川部長にいつも「弓道ながの」は県弓連の記録史としての使命があると言っている手前、この歴史的な緊急事態を県弓連の史実として残しておく必要があると思ひ引き受けた。

全弓連より五月末までの各種行事の中止及び延期の措置対応が出されていたので、十九日に臨時常任理事会を開催し、六月以降の計画の見直しを予定していた。十六日に全都道府県対象に緊急事態宣言が拡大され、それも中止を余儀なくされた。ここ



画像提供：国立感染症研究所

にきて令和二年度事業計画書の印刷・発行の時機を逸してしまった。四月末のGW前には全弓連から何らかの指令が出されるだろうからそれを待って印刷に出すこととした。四月二十八日に六月〜九月

の全弓連主催行事の中止が発表された。同時に九月中までに予定されている連合会、地連審査会も全て中止となった。また全日本勤労者選手権大会の中止に続いて高校総体、大学選抜、中学生の全国大会が中止になった。この原稿の締め切りの五月二十四日までは国体、全日本近・遠的選手権大会の動向は分かりそうにないが、五月二十一日に近畿三府県の緊急事態が解除になった。二十五日には東京都も緊急事態宣言解除の意向である。そうなるこの号が発行される七月には動向がはっきりしていることだろう。

ヤリングが計画されていたが、感染予防のため全弓連の方からキャンセルが入った。その頃はコロナの怖さをさほど深刻に受け止めていなかったもので、いい機会だったのにと腹立ちさえ覚えたものだ。しかし、会議の最中に全国の学校に休校要請の情報が入ってきた。既に三月に審査会などの行事を予定していた地連は会議どこ

ろではないという様子だった。三月に入って春の高校選抜大会の中止、大相撲春場所の無観客での実施、更に東京五輪2020大会延期の発表があり、三月末には志村けんさんが新型コロナウイルス肺炎で死去に至って他人事でなく間違いなく緊急事態であることを認識せざるを得なくなった。

人類の歴史はウイルスとの闘いの歴史だったと言われる。世界を震撼させた感染症として我々が耳にしたのは、一七二〇年前後のペスト、一八二〇年前後のコレラ、一九二〇年前後に猛威を振るい、長野県内だけでも約一万三千人が死亡したスペイン風邪、そして二〇二〇年の今回のコロナ感染症と奇しくも百年周期で発生している。

今回の新型コロナウイルス感染症の病気名称はCOVID(コヴィッド)19(Coronavirus Disease 2019 二〇一九年に確認されたコロナウイルスによる病気)ということを一十一日夜のNHKTVの八時からの番組で初めて知った。

コロナウイルス感染症の学術的なことは専門家に任せることとして、この四、五カ月の間にメディアが盛んに社会に発信したコロナウイルス関係のカタカナ語、聞きなれないおかしな日本語を挙げてみたい。また朝日新聞に掲載された川柳でコヴィットの頃の市井の声、世相を表したものを『書きして、後世に残したい』

弓道合宿予約随時受付中！

野辺山洗心弓道場

- 近的道場 18人立1ヶ所 (床暖房完備)
- 12人立2ヶ所
- 遠的道場 1ヶ所

帝産ロッチ

〒384-1305

長野県南佐久郡南牧村野辺山1003

HP: <http://www.teisanlodge.com/>

ご予約・お問い合わせは 0267-98-2861

クラスター(感染者集団)、パンデミック(感染症の世界的な大流行)、オーバーシュート(爆発的感染者の急増)、ロックダウン(都市・店舗封鎖、外出自粛)、オンライン(PC、スマホをインターネットにつなげて会議、授業、帰省をする)『テレながら画面にしゃべるオンライン』。テレワーク(在宅勤務、全弓連事務局も二十三日現在まだそうである)。ドライブスルー(PCR検査、ウォークスルーもあり)。テイクアウト(お持ち帰り)。ステイホーム(蛭居、籠城、おうちでね、ホームステイではない)。東京アラート(小池都知事発言、緊急事態解除後の緩和に7つの指標、基準超えれば警報)。年寄り話の途中でカタカナ語が入ってくると理解が追いつかなくなる。フィジカルディスタンス⇨ソーシャルディスタンス(社会的距離、人と人との距離を保つ行動、3密回避)。アベノリスク(後手後手、見極めの甘さ)。3密(密閉、密集、密接)。発出(緊急事態宣言を発出首相)日本語かい? 『八十路越え』発出「覚えた不幸にも」。前広(九月入学を前広に検討首相)『後手後手の旦那のたまう「前広」と「マエヒロあまり品のいい言葉じゃないな。新生活様式(長丁場を想定した感染対策)』。『マスクしてメシ食う技を見せてくれ』。

川柳もマスク関係が一番多かった。アベノマスク(給食担当、アゴ丸出し、一戸に二枚配布 五月二十三日現在まだ届いていない)『宣言の前にアゴを出す頼りなさ』『布マスク変えられないか前広に』『マスクの値暴落する頃届くかな』。ユリコノマスク(でかつ、色の白いは七難隠すというがこれは八難隠す)『映えるけどユリコのマスク高そうね』。

最後に、賭けマージャン、この緊急時に黒川前検事長、『賭けマージャン許可法案は間に合わず』『余人をもつて代えがたい人物』と首相、そりゃそうだこんな人は他にいない。見識が疑われる。

長野県も新しい感染者が発生しない日が十日以上続いている。このまま終息してもらいたいと願っている。極め付きは岩手県、『自県より岩手の数をまず確認』。

長野県の緊急事態宣言は十四日に解除され、弓道場も全部ではないが条件付きで使用できるようになった。気の緩みからのぶり返しを怖れます。『リバウンドが怖いコロナとタイエット』。各人が愚かな行動を自粛し、「新たな生活様式」のガイドラインをよく認識して、この事態を乗り切りたいものです。



ホカゾノマスク

私と弓道

中高支部 五段 清水みづ子

私が弓道と出会ったのは、十二年程前自分の時間ができ、これから何か始めたいと思っていた頃、市の催しで行われた、「初心者教室」でした。一度目は、それで終わったものの、ご近所にお住いの錬士六段の方に又、声を掛けていただき、再び始めたのが今に至っています。先生方は、何度も同じ事を聞く私に、いやな顔もせず、そのつど丁寧に指導して下さいます。それでも、なかなかできないのですが…。

身に付くのかと、思い悩みながら練習をしています。この弓道を通して知り合えた方々。年齢や性格を超えて、様々な事を話せる友人もできました。これからも大切にしたいと思えます。幸運にも、先生方や仲間にも恵まれ、弓を通し色々な事を考え、悩み、ゆっくり成長し、心が豊かになっていけるのかな、と思います。

弓道は弓を射るだけでなく、人生や生活にも関わってくるものだと思います。

練習、審査もままならないこの頃、この『弓道なごの』が発行される頃には、新型コロナウイルスが終息して、弓道の仲間と又、切磋琢磨し、美しい射に少しでも近づけるよう、日々修煉していけるようになっっている事を願っています。

足踏みや気になっていたら、打起しが気になり、打起しを気にしていたら、手の内が…と、次から次に問題点が。いつになったら、綺麗な射が



枯れたように見えた樹木の枝に、新緑が芽吹き出したように、気持ちも新たに、上を向いていこうと思います。

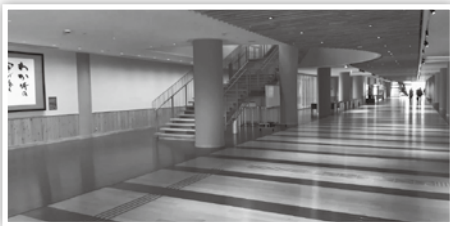
長野県立 武道館 開館

長野県弓道連盟 理事長 湯澤 秀雄

雲ひとつなく澄んだ三月二十六日、佐久市猿久保に完成した県立武道館オープニングセレモニーが開催されました。新型コロナウイルス感染症対策から当初予定された武道団体による模範演武や武道体験会などを延期し、テープカットのみ行われ、長野県、佐久市、武道団体から三十七名が出席しました。

武道館は浅間山を北に望むところにあり、ゆったりとした大屋根がこの自然に溶け込んでいます。鉄筋コンクリート造で屋根は鉄骨と木材のハイブリッド構造。南に大きく伸びたキャノピー内に一階、二階の玄関があり、二階へは階段かスロープを使い、そこから主道場の観覧席に入るようになっていきます。

一階エントランスホールには右側の壁に弓道をはじめ各武道団体の案内パネルが掲げられています。右側には武道関係書籍や展示品が並べられ、弓道関係の書籍も現在販売され



ているものはほとんど收藏されています。このエントランスホールから右に主道場があります。約四十メートル×五十メートル、赤松の床、落葉松の壁、写真のように鉄骨と木材を組み合わせた『屋根架構が現し』となっていて、構造的な美しさがあります。周りに更衣室、トイレ、機械室等があり、その上部が二階千五百席の観覧席となっています。エントランスホール左手前に剣道場、奥に柔道場、両道場の間の中庭はデッキとなっていて屋外で太極拳などができるとなっています。

内装には長野県産の赤松、落葉松、杉がふんだんに使われていて、やわらかで落ち着いた、温かみのある空間となっています。また、書家の石飛博光先生の書が飾られて、エントランスホールは若山牧水の「若たけの伸びゆくごとく…」、主道場の浅間山を望む窓上には「獨坐大雄峰」、剣道場は「看脚下」、柔道場は「登龍門」となっています。それぞれ書体が違い、その言葉の意味も考えさせられます。

残念なことは、道場規模に対して会議室等の狭さを感じたこと、弓道場がないことです。今後はぜひ多目的広場等に佐久市営弓道場を造っていただきたいと思っています。



各事業部より

事務局

先日皆様のお手元に、お配りいたしました事業計画は、斜線のある行事は中止が決定したものです。それ以外は要項に変更があるかもしれませんが、開催を予定しております。募集など、各支部ご準備くださいようお願いいたします。

ホームページでもお知らせいたしました「会報」が発行されました。全弓連の運営や取り組み、委員会活動の報告、各県庁からの通達などが掲載される予定です。掲載されているQRコードよりご登録いただけます。

全日本弓道連盟『会報』登録
https://www.kyudo.jp/member_materials/kaihou_mail.html
 右記QRコードからもアクセスしてご登録いただくことができますのでご利用ください。



競技部

既にホームページにも記載いたしておりますが、七月十二日の長野県弓道遠的選手権大会は、全日本弓道遠的選手権大会の長野県予選のみを実施します。対象者は男女五段以上の希望者で竹弓使用が条件となります。

七月十九日の北信越錬成大会は中止とし、代わりに五月から延期をしていた全日本弓道選手権大会(近的)の長野県予選会を実施します。どなたでも参加できますが、竹弓矢使用が条件となります。

審査部

令和二年度審査会開催について
 本年度は九月までの審査会中止を決定しております。

十月以降の審査会につきましては十月四日の北信越連合審査会及び、各地区式段以下審査会の開催を予定しております。開催に際し、コロナ感染防止対策を講じる様々な対応が取られることに対し、受審者各位のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

尚、詳細は各開催主管支部からの指示がありますので、ご留意ください。今後の状況により、審査会開催については開催が困難な状況も予想されます。その際は、ホームページや各支部長を通じてご案内いたしますが、たくさんの方の受審を、お願い申し上げます。

ジュニア部

長野県総合体育大会弓道大会の代替大会の予定

主催：長野県高等学校体育連盟、
 長野県教育委員会
 期日：7月23日(木)
 場所：長野運動公園弓道場(東北信)
 塩尻市弓道場(中信)

備考：個人戦 四つ矢2回
 高校三年生限定にて実施

広報部

外出自粛や道場の閉鎖により巣ごもり状態の中で皆さんはどのように過ごしていたでしょうか？ ホームページ掲載の「日々の練習」や「弓道の為の筋力トレーニング」を実践していた方、ゴム弓や素引き、中には巻き薬を購入した方や自前の射場を作ってしまった強者もいるように聞いております。

広報部では、次回七十五号に「この時期をどのように過ごしたか」の原稿を募集いたします。掲載は匿名でも結構ですが、原稿には支部名とお名前をお書きください。八月二十五日までお近くの広報部員またはホームページ「弓道」の編集部までお待ちしております。

訃報のお知らせ(敬称略)

長野県弓道連盟 上小支部
 教士七段 宮川 登(86歳)
 令和2年3月16日(月)
 ご逝去されました。

長野県弓道連盟 松本支部
 錬士五段 柄澤 寛文(91歳)
 令和2年4月1日(水)
 ご逝去されました。

長野県弓道連盟 飯伊支部
 四段 木下 茂利(70歳)
 令和2年4月23日(木)
 ご逝去されました。

ここに謹んで哀悼の意を表し、お知らせ申し上げます。

弓道と

新型コロナウイルスが猛威を振るい、朝から晩までその話題ばかり。弓道の世界でも行事というものが全て中止され、いまだに道場も使えない状態となっている所もあるそうです。外出自粛で家に居る時間が長くなる、スマホやパソコンに向かっている時間も長くなりますね。

そう言えば、まだ学生だった頃、インベーダーゲームが流行りました。喫茶店のテーブルで夢中になったものです。その後は家庭用ゲーム機が出てマリオやテトリス、ドラクエなどにはまりましたが、今ではゲーセンに行くことも無くなりました。

最近の対戦型ゲームは反射神経や持久力、時には高度な戦術も必要とはいえ、「ゲームはスポーツだ！」に違和感があるのは私だけでしょうか。

新しいコロナウイルスで東京オリンピックは延期されましたがこの「eスポーツ(electronic sports)」をオリンピックの正式種目にと盛り上がったのも記憶にあります。事実世界大会も年何回か開催され、プロのゲームも誕生しています。しかも賞金は億単位にもなるそうです。競技人口は世界で1億3千万人以上、競技人口以外の観戦、視聴者は実に3億8千万人に及ぶそうです。(日本では競技人口390万人、観戦者は160万人)弓道の比ではありませんね。

老若男女を問わず楽しめ、ICT教育や福祉、医療の分野でも期待をされている「eスポーツ」、固定観念にとらわれず進んでいる時代の大きな波に乗り遅れてしまうのかもしれないと思っこの頃です。

安曇支部 荒川 保

